



R7.3.4

令和6年度 朝日中学校 学校だより

だのっこ

鶴岡市立朝日中学校

TEL:53-2092

Fax:53-2091

Mail⇒



祝 NPO 法人鶴岡市スポーツ協会 体育功労者表彰

栄光賞(団体) 齋藤さん(JFA 第15回全日本U-15女子フットサル大会山形県大会 1位)

栄光賞(個人) 五十嵐さん(全国中学校スキー大会 女子回転5位)

清野さん(全国中学校スキー大会 男子回転7位)

遠藤さん(東北中学校スキー大会 男子回転3位)

清野さん(山形県中学校スキー大会 女子回転1位)

28日から今年度最後の大掃除、クリーン作戦が始まりました。

今回のクリーン作戦のねらいは

- 心をこめて清掃を行い、3学期の学校生活を締めくくる
- 割り当てられた仕事を時間いっぱい全員で取り組み、学習環境の美化に努める

と示されていますが、

「割り当てられた仕事を時間いっぱい全員で取り組み、」とか「学習環境の美化に努める」は分かるような気がします。しかし「清掃に心をこめる」ってどういうこと？

ちなみに、秋山が、時々2Fの廊下の、おそらく給食を運んでいるときにこぼれてできた「シミ汚れ」を拭いているのは、僕自身、その汚れが気になるからだけではありません。

先週、ある生徒が「先生、あのトイレが臭かった!」と教えてくれました。自分のことだけ考えれば、そこを使わなければいいだけの話だから、よっぽど臭かったのもあるかもしれませんが、結果的に次に使う人のこと、みんなのことを考えた行動になったことをとてもありがたく、うれしく思いました。

自分の何気ない、ちょっとした行動が周りの人のためになっていることって結構あると思うんです。

その反面、思いもかけない行動が周りの人を傷つけてしまうこともあると思うんです。

例えば下校時、スクールバスが発車するまでの時間に、雪玉を投げているのを見かけることがあります。それを先生方が注意するのは、当事者以外の回りの人に当たるのはもちろんのこと、自分の近くに飛んできたら、「ひょっとして自分に対して…」と嫌な気持ちになる人がいるかもしれない、ということが想像できるからです(実際に当たった生徒がいる、という話も聞いています)。

皆さんには、春から「人には一人ひとり、得意、不得意があったり、感じ方、考え方が違ったりすることについて、また、そのことに伴って自分との違いを受け入れること」についてお話してきました。自分の言動が周り

の人に与える影響を想像し、自分だったら「言われたり、されたりしたら嫌だな」と思うことはしないこと、にとどまらず、たとえ些細なことでも、誰かがうれしくなるような、喜んでもらえるようなことを行動に表すことができる皆さんであってくれたらいいな、と思います。

4 日 程

期間中、毎日、水拭き用の雑巾を準備します。
床の水拭きが重点でない日も、床や格子・窓のさん・サッシの溝などの水拭きに使ってください。

		28日（金）		3日（月）	6日（木）	10日（月）	12日（水） 昼休み
重 点 項 目	1 年	★黒板クリーナー清掃 ★ゴミ箱磨き	★靴箱清掃	高い所のほこり取り 鏡磨き	ロッカー・棚等清掃	机・椅子の足 ほこり取り	ツ磨き ★配膳台・給食用バケ
	2 年			ロッカー・棚等清掃	机・椅子の足 ほこり取り	高い所のほこり取り 鏡磨き	
	3 年			机・椅子の足 ほこり取り	高い所のほこり取り 鏡磨き	ロッカー・棚等清掃	

クリーン作戦の期間中、毎日水拭き用の雑巾を用意してくれるのは技能士さんです。秋山なら、みんなが使うと、洗濯しなきゃいけない手間より、せっかく用意したんだから使ってほしい、と思いますけどね。



3月1日に開催された慶應義塾大学先端生命科学研究所の中学生見学会に行ってきました。
鶴岡市だけでなく酒田市からも中学生とその保護者、約60名参加していました。
秋山がこの見学会に参加するのは、今回でたぶん3回目。だから先端研のラボや研究施設は大体わかるんですが、それでも行くのは、所長の荒川さんの話を聞くためと、高校生や大学生等のプレゼンを見るためです。朝日中でも学習発表会などをはじめ、調べたことをプレゼンする機会は何度かありますが、今、就職するにしろ、大学進学するにしろ、指示されたことにきちんと取り組む力はもとより、自分で課題を見つけて仲間と協働して解決に向けて取り組む力が重要視されているため、高校では中学校以上に自分で設定したテーマについて探究する活動に力を入れています。この見学会でプレゼンする高校生が探究している内容は非常に高度でしたが、自分の興味があることに対して「知りたい」という熱意を感じ、探究に取り組む姿勢に刺激を得ることができました。

最後に、ある中学生が、荒川所長に「外国の研究者とどうやってコミュニケーションをとっているか」と質問していました。所長は「もちろん英語でやり取りしているけれど、スキルとしては中学、高校で習う程度の英語でも十分だから、英語はしっかり勉強しておいた方がいいよ」とおっしゃっていました。

でも、最後に所長がお話された「やっぱり言葉は大事だけど、聞く価値があると感じれば、どんな稚拙な英語でも（話でも）しっかり聞いてくれる」という言葉が胸に刺さりました。